

確 認 事 項		応 答 事 項
1.	木工事 図面番号 (A-69) 建具表 (3) の木製建具WDの規格品と記載がありますが、既製品として考えてでいいでしょうか？	よろしいです。
2.	木工事 設計書 (No. 41) 框の材種のご指示をお願いします。	堅木又は集成材とし、材種の指定はありません。
3.	木工事 設計書 (No. 41) 木建枠の材種のご指示をお願いします。	基本的にはA/67図【共通事項】のとおりとし、材種の指定はありません。 スギ材又はスギ集成材への変更も可とします。
4.	金属製建具 図面番号 (A-67) 設計書 (No. 16) にAD-103a (こまち寮改修) ・AD-215 (厨房増築) とありますが、建具表に記載がありません。取付箇所及び形状のご指示をお願いします。	AD-103aはAD-103の間違いです。 AD-215はA/67図下段を参照してください。
5.	金属製建具 AD-6移設となっておりますが、移設先のご指示をお願いします。	A/67図下段のとおり、既存AD-6を移設し、1階のAD-106とします。
6.	ガラス工事 AD-103・113・113aは避難口となるかと思いますが、防火設備になると思われます。従って、ガラスの品種がLow-Eペアとなりますがよろしいでしょうか。	よろしいです。
7.	ガラス工事 AW-103にガラスフィルム貼りとなっておりますが、グライダーフィルムと考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
8.	塗装工事 図面番号 (A-11) 外部改修計画概要にて、外壁 下地調整のトップコートとなっておりますがトップコートのDPの樹脂についてご指示をお願いします。 また、複層塗材の上塗りも同様と考えてよろしいでしょうか。	セラミックシリコン樹脂程度とし、複層塗材の上塗りも同様とします。
9.	内装工事 図面番号 (A-49) 増築厨房棟の壁及び天井のグラスウールですが、設計書 (No. 51) では24K、A-49増築厨房棟 矩計図に16Kとなっております。どちらを正とすればよろしいでしょうか。	図面 (16k) を正とします。

	確 認 事 項	応 答 事 項
10.	外壁の改修ですが、A-11図で各棟トップコート塗、A-23図で複層仕上塗材新設とありますがトップコート塗（DP-1種）でよろしいでしょうか。	既存仕上が塗装面の場合はトップコート塗とし、既存仕上がRC打放しの部分には、複層仕上塗材新設とします。
11.	A-49図、増築部の外壁ですが、複層仕上塗材とありますが、複層仕上塗材Eでよろしいでしょうか。	よろしいです。
12.	A-11図、堅樋改修ですが、亜鉛メッキ鋼管と思われませんが、A-30図、A-49図にSUS鋼管とあります。この部分だけSUS鋼管でしょうか。	全て亜鉛メッキ鋼管とします。
13.	A-23図、バルコニー手摺、フラワーボックスの詳細が不明です。指示願います。	A/43図を参照してください。
14.	A-11図、カフェテリア棟の外構に一部浸透枳及びU型側溝新設とありますが、場所が不明です。指示願います。	外構工事は学生寮・管理棟・カフェテリア棟共通とし、学生寮西側の既存浸透枳を接続するように浸透側溝を新設します（A/16図参照）。新設する浸透枳はありません。
15.	A-14図、備考欄に外気に面する外壁及び屋根の防露ウレタン補修は面積の10%程度を想定するとありますが、吹付けしてある場所が不明です。指示願います。	屋根及び外壁の内面全てと考えてください。熱橋部の折返し断熱材もありますが、折返し部分は範囲に含まないものとします。
16.	A-13図、A-58図、寮室4階の天井ですが、天井有りでしょうか。	よろしいです。
17.	A-39図、共同キッチンの2, 3通りの壁に仕上ラインがありますが、RC直か、石膏ボードGL工法か、ウレタン複合ボードか不明です。指示願います。	A/12図（仕上表）のとおりです。
18.	A-41図、共同キッチンの換気扇カバーの詳細が不明です。指示願います。	A/41図及びA/56図を参照してください。

	確 認 事 項	応 答 事 項
19.	ラウンジ、RAオフィス、管理用休憩室にはカーテンボックスは不要でしょうか。	レールのみでよろしいです。
20.	A-43図、寮室のUB周りの壁には断熱材がありますが、脱衣室との間にはありません。不要でしょうか。また天井裏はいかがでしょうか。	防音措置として充填しています。寮室～脱衣室間の間仕切壁、及び1～3階天井裏の断熱材は不要です。浴室廻りの気密シートは天井裏にも施工してください。
21.	階段Cの蹴上部の仕上げは、タイルカーペットでしょうか、SOP塗装でしょうか。	蹴上部も現況タイルカーペット張りとなっているため、張替えとします。
22.	壁のケイカル板+硬質ウレタンフォームの複合板は、現在製作されていないみたいですが、発砲ポリスチレンの複合板でもよろしいでしょうか。	よろしいです。
23.	既存の床下地は、コンクリートでしょうか、モルタルでしょうか。	階段以外はコンクリート直均し下地となっています。(A/13・14図、K/1～5図参照)
24.	各所下り壁と天井との見切りは、塩ビでよろしいでしょうか。	特記がない限り塩ビ製でよろしいです。
25.	食堂壁ですが、00、01、B、F通りの壁は既存のままでもよろしいでしょうか。	よろしいです。ただし、設備機器等撤去によりクロスの補修等が必要な場合は、既存同等仕上げによる補修を行うものとします。
26.	食堂の床、巾木は新設になっていますが、00、01、B、F通り、柱型の詳細がありませんので不明です。指示願います。	添付資料（現況写真）を参照してください。
27.	A-53図、放冷室の壁ステンレス板張りは、B面だけでよろしいでしょうか。	開口部を除く外壁の内面以外の3面全てをステンレス貼りとします。

確 認 事 項		応 答 事 項
28.	A-14図、分電盤室の壁仕上げですが、既設壁面も石膏ボード（LGS下地）でしょうか。	既設壁面はRC下地となっており、石膏ボード（一部ケイカル板）EP塗仕上げ（GL工法）です。
29.	消火器は既存も含めて、すべて交換でしょうか。	全て交換とします。
30.	A-62図でAW-7枠共撤去とありますが、A-68図でAW-107カバー工法とあります。いずれでしょうか。	AW-7（枠を残して撤去）、AW-107（カバー工法）とします。
31.	A-62図でAD-4枠共撤去とありますが、A-67図でAD-104カバー工法とあります。いずれでしょうか。	AD-4（枠を残して撤去）、AD-104（カバー工法）とします。
32.	A-69図、木製建具の規格品ですが、枠も規格品でしょうか。	枠も規格品でよろしいです。
33.	A-69図、木製建具の製作物ですが、枠の塗装はCL塗装でよろしいでしょうか。	A/67図【共通事項】を参照してください。
34.	A-13図、洗濯室の備考欄に棚（支給品）とありますが、大きさ、位置が不明です。指示願います。	未定です。 （A/46図点線にて予想位置を記載しています。）
35.	A-73図に増築建物①と増築建物②がありますが別途でよろしいでしょうか。	図面の誤記です。増築建物①②はありません。
36.	ユニットバス、シャワーの入口額縁は樹脂製でよろしいでしょうか。	よろしいです。

	確 認 事 項	応 答 事 項
37.	外壁の窓周りの納まりですが、現状がどのように納まっているか不明です。(断熱、GL工法、LGS下地、打放し等)石膏ボード+硬質ウレタンの複合板、またはLGS下地の場合、壁がふけてきますので、額縁の大きさが変わってきます。どのように納めるか図示願います。	現状は、基本的にはGL工法です。各断面詳細図・平面詳細図を参照してください。
38.	設計書No.16でAD-103 3か所と記載されていますが、図面には4か所あります。4か所と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。
39.	設計書No.16にAD-103aとありますが図面には記載されておられません。ご指示願います。	確認事項4.を参照してください。
40.	AD-215の詳細が明示されておられません。建具仕様・サイズをご指示願います。	確認事項4.を参照してください。
41.	図番A-66にAW-206とありますが工事範囲外ですので無しとみなしてよろしいでしょうか。	よろしいです。AW-206はありません。
42.	館名板の仕様・サイズ等ご指示願います。	A/23及びA/35図を参照してください。
43.	設計書No.18防水形下地調整の上複層塗材Eとなっていますが、複層塗材Eと防水型複層塗材Eの両方が考えられます。又、A-3特記仕様では複層塗材REとなっていますがどちらが正しいのでしょうか。	複層塗材Eとします。
44.	A-11外部仕上表で下地調整の上トップコートとなっていますがトップコートDPの樹脂についてご指示願います。また複層塗材の上塗りも同様と考えてよろしいでしょうか。	確認事項8.を参照してください。
45.	設計書No.13外壁クラック補修ボンドUカットシールとありますがA-3特記仕様では自動式低圧エポキシ樹脂注入工法となっています。どちらが正しいでしょうか。またボンドUカットシール工法の場合の充填剤をご指示願います。	基本的にはボンドUカットシール、充填剤は可とう性エポキシ樹脂程度とします。ただし、クラックの部位や幅等の状態によって、自動式低圧エポキシ樹脂注入を採用する場合があります。

確 認 事 項		応 答 事 項
46.	設計書No. 13外壁欠損部補修アンカーピンニングエポキシ樹脂注入とありますがその内容は浮き部改修の工法になります。欠損部改修の工法をご指示願います。又、浮き部改修の工法・面積をご指示願います。	設計書の摘要が誤記です。欠損部補修はエポキシ樹脂モルタル又はポリマーセメントモルタル充填工法（A/3、22図参照）です。
47.	外構工事にて目隠しフェンスとありますが、品番仕様等ご指示願います。	A/24図を参照してください。